

生徒のウェルビーイング向上を目指した**城ノ内中等教育学校**の取組を紹介します。

R7年度から1コマ**45分**授業に変更し、放課時刻を**30分**繰り上げ

- ➡ 学びの質の維持向上のため、カリキュラム・マネジメントのさらなる充実に取り組む
・ 前期課程週時程の見直し ・ 探究活動のブラッシュアップ ・ 教育DX推進 など

中等教育学校としての強みを生かし、
「6年間を見通したカリキュラムのもと、
主体的に考え、行動する生徒を育てる」
ことを目的とし、1～6年の全学年で
50分授業から45分授業に移行

■ 生徒には、
放課後の時間をより多く確保し、
一人一人が目標を持って
主体的に行動できる時間をつくる



□ 教職員には、
ゆとりを生み出し、学校における
働き方改革推進につなげる



成果と課題を継続的に検証し、
今後も更なる取組を展開します。



■ 生徒の声（3年次生と5年次生に聴きました。）

- ・ 部活動を早く始められ、塾などにも早く行ける。
- ・ 帰宅が早まり、家事の手伝いもするようになった。
10時半頃には就寝でき、生活リズムが良くなった。
- ・ 夕食を家族一緒にとれるようになり、会話も増えた。
- ・ 以前は部活が終わって帰宅してもほとんど学習ができなかったが、今は確実に家庭学習に取り組めている。
- ・ 45分授業になった最初ころは「授業スピードが速くなる」、「十分に説明してもらえない」などの不安があったが、今はなく、逆に、授業に集中できている。
- ・ ゆとりのできた時間を進路研究やICTのスキルアップに充てるなど、自分の成長のために使いたい。

□ 教職員の声

- ・ 放課後の30分は、自分には予想以上に大きかった。
- ・ 授業準備や事務作業など、できることが多くなった。
- ・ 生徒との面談、質問対応などに十分時間をかけられる。
- ・ 45分授業にまだ慣れず、「もう一つできたか」ということもあるが、授業の進度に支障はない。